全日本漢詩大会　石川大会の準備状況

石川県漢詩連盟会長　北畠能房

全国的に新型コロナウイルス感染が拡大し、「緊急事態宣言」「蔓延防止措置」が各地に適用されています。

当地石川県におきましても、蔓延防止措置対象県となっており、全日本漢詩大会を一ヶ月後に迎えるにあたり、大会に参加を予定されていらっしゃる皆様にはご心配なことと存じます。

実行委員会としましては、昨年度の宮崎国民文化祭の経験を受け継ぎ、全日本漢詩連盟本部とも相談を重ね、現時点では以下のように考えています。

大会の開催会場「こまつ芸術劇場うららら」が石川県の施設であることから石川県のコロナ防止対策の動向、また、他県から大会に参加いただく方々のそれぞれの地域でのコロナ防止対策の動向の２点が重要です。

現在、石川県では「まん延防止措置」が９月 12 日まで延長され、会場の小松市は対象地域には入っていませんが、対象地域にある金沢市の場合、国・県施設は軒並み閉館となっています。

県、及び全国の状況が今後悪化した場合、大会自体の中止もあり得ます。

また、現在の状況で進行した場合には、大会だけは開催して、懇親会は中止とします。

吟行会につきましては、会場であります加賀市役所から、「県のコロナ対策にあわせて開催するように」との指示がありますので、開催できる場合でも、バスは定員の半分で運行し、食事は一か所ではなく、弁当配布・個別にとっていただくことで開催することになります。

さらに、大会開催の場合でも、会場「うららら」のコロナ対策に沿って、
「一般客をいれて開催する」、「役員・審査員・受賞者・来賓（こられる方々のみ）のみで、授賞式とアトラクションだけは実施する」の二形態が考えられます。

後者の場合でも、出来れば、ビデオなりにとって、本部のＨＰから会員に伝えていただくなどできればよいと思います。

目下のところは、大会開催を想定して、特別賞吟詠者代表やアトラクション出演者代表、大会事務局と会場「うららら」担当者とのコロナ対策打ち合わせ会を９月２日に予定し、準備を進めている状況です。

ただ、９月 12 日が期限となります「蔓延防止対策」の措置、全国的な感染状況がどうなるかを見極めないと、軽々には判断できないと思っています。

万々が一、大会が中止になっても実施せねばならないであろう、作品集と表彰状授与の準備だけは先行してしっかりと実施していこう、という方針で校正等の準備を本部のご協力を得て行っているところです。

参加予定の皆様にはそうした流動的な状況もご理解くださり、仮に予定の変更などがありましたら、全日本漢詩連盟のホームページにて報告いたしますので、ご確認下さると幸いです。

令和３年８月３０日